

令和4年度  
大阪大学大学院人文学研究科言語文化学専攻  
科目等履修生出願要項

**はじめに**

令和4年4月1日、大阪大学は、大学院文学研究科および言語文化研究科を統合・再編し、5つの専攻（人文学／言語文化学／外国学／日本学／芸術学）から成り立つ「人文学研究科」を新設します。

令和4年4月入学者を対象とする人文学研究科の科目等履修生の出願要項は専攻ごとに異なります。この出願要項は、人文学研究科言語文化学専攻の科目等履修生に出願するための要項です。

なお、言語文化学専攻の科目等履修生の出願に係る選考は、令和4年3月までは言語文化研究科言語文化専攻が実施します。出願も言語文化研究科に行ってください。

注1) 言語文化学専攻以外の人文学研究科各専攻の科目等履修生に出願を希望される場合は、それぞれの出願要項を参照してください。

注2) 言語文化学専攻の科目等履修生のほか、人文学研究科各専攻の科目等履修生にも併願を希望される場合は、事前に下記連絡先（豊中事務室大学院係）へご連絡ください。

**1. 科目等履修生**

言語文化学専攻の科目等履修生を希望することができる者は、別紙の博士前期課程の授業科目一覧の中から、5科目以内を選んで履修し、単位を修得しようとする者に限ります。

※同一時限の同一授業科目A・Bを1科目とみなします。ただし、授業科目A又は授業科目Bのみの場合も1科目とみなします。Aは春～夏学期、Bは秋～冬学期開講科目です。

**2. 出願資格**

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 学士の学位を有する者

(2) 本研究科において大学卒業以上の学力があると認められた者

(注) 上記出願資格(2)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行いますので、「4. 出願手続」に記載の(ア)、イ)の書類及び大学卒業以上の学力に係る資料がある場合はその資料を令和4年1月19日(水)～1月21日(金)までに末記の豊中事務室大学院係へ郵送または持参してください。

郵送の場合は、封筒に「科目等履修生出願資格事前審査書類在中」と朱書きし、書留郵便にしてください。

審査の結果は、令和4年2月10日(木)までに通知します。

出願資格のある場合は、出願書類を受理しますので、出願書類受理期間内に他の出願書類ウ)～オ)を提出してください。

**3. 入学の時期及び在学期間**

入学の時期は原則として学年の始めとし、在学期間は履修する授業科目所定の授業期間です。

**4. 出願手続**

豊中事務室大学院係に下記の出願書類等を郵送または持参してください。

郵送の場合は、封筒に「科目等履修生入学願書在中」と朱書きし、書留郵便にしてください。

出願書類受理期間 令和4年2月15日(火)～2月18日(金) 16時(必着)  
(持参の場合の受付時間 9時～11時30分、13時～16時)

**出願書類等**

ア) 入学願書(本研究科所定様式・写真添付)

イ) 最終学校の卒業又は修了(見込)証明書及び成績証明書

ウ) 事務連絡用封筒(定形封筒に宛先明記の上、84円切手を貼付のこと。)

エ) 可否通知用封筒(角2封筒に宛先明記の上、140円切手を貼付のこと。)

#### オ) 検定料及び振込方法

- ①検定料 9,800円
- ②振込期間 令和4年2月10日(木)～2月18日(金)
- ③振込方法 本研究科所定の振込依頼書の※欄に、志願者本人の住所・氏名及び電話番号を記入のうえ、金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の受付窓口で上記①の検定料を振り込んでください。(ATMは不可。必ず受付窓口で振り込んでください。)
- ④振込手数料は志願者の負担とします。
- ⑤検定料納入証明書を入学願書に貼付してください。

#### 5. 選考方法

試験及び書類選考により行います。

ただし、前年度から引き続き科目等履修生を希望する者については、筆記試験を免除します。

#### 6. 試験

- (1) 試験日時 令和4年3月9日(水) 10:00～

試験区分	内 容
筆記試験	英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語のうちから1外国語を選択すること。(ただし、外国人留学生は日本語とします。)
口述試験	個人面接方式で行う。

- (2) 試験場所 大阪大学豊中キャンパス(詳細は3月初旬に受験票とともに送付します。)

#### 7. 合格発表及び入学手続

可否は令和4年3月18日(金)に郵送にて直接本人に通知します。

(※3月23日(水)になっても通知が届かない場合は連絡願います。)

なお、入学手続に必要な事項はその際に通知します。入学手続期間については、3月23日(水)から25日(金)を予定しています。

#### 8. 入学料及び授業料の額

入学料 28,200円

授業料 14,400円(令和4年度予定額、1単位当たり)

#### 9. 科目等履修生高度プログラム

以下の科目等履修生高度プログラムの履修を希望する者は、ホームページを参照のうえ、出願してください。各プログラムが定める条件を満たした者には修了認定証が授与されます。

○デジタルヒューマニティーズ：分析方法論と実践(人文学研究科言語文化専攻開設)

<https://www.lang.osaka-u.ac.jp/lc/admission/guide>

○インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践(国際教育交流センター開設)

[http://ciee.osaka-u.ac.jp/graduate\\_school/](http://ciee.osaka-u.ac.jp/graduate_school/)

#### 10. 個人情報の取り扱いについて

(1) 出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続き」等の入試業務を行うために利用します。なお、入学者については「教務関係(学籍管理、履修指導)」、「学生支援関係(健康管理、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学選抜方法の調査・研究のために利用することがあります。

#### 11. 注意事項

(1) 願書には履修したい全ての科目(春～夏学期・秋～冬学期開講分)を記入してください。

(2) 出願手続後は、出願事項の変更を認めません。

(3) 授業時間割等は途中で変更されることがあります。

(4) 履修を許可された授業科目は、原則として変更できません。

- (5) 既納の検定料は次の場合を除き返還しません。
- ①出願したが出願資格がなかった場合
  - ②出願書類受理期限後に出願書類が本研究科に到着した場合
  - ③出願書類に不備があり受付できなかった場合
  - ④検定料を振り込んだが本研究科に出願しなかった場合
  - ⑤検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (6) 「通学証明書」、「学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)」は発行できません。
- (7) 本学図書館の利用については、本学図書館のホームページを参照してください。  
<http://www.library.osaka-u.ac.jp>
- (8) 科目等履修生になられても留学ビザの申請はできません。
- (9) その他不明な点については豊中事務室大学院係へ問い合わせてください。

**【連絡先】** 大阪大学言語文化研究科・外国語学部 豊中事務室大学院係  
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1番8号  
Tel 06-6850-5863 (直通) Fax 06-6850-5865

人文学研究科のカリキュラムは、人文学研究科共通科目と各専攻科目で構成されています。このうち下記の授業科目一覧に示す「人文学研究科共通科目（言語文化学専攻）」と「言語文化学専攻科目」は、人文学研究科言語文化学専攻が開講している授業科目となります。また、「人文学研究科共通科目（人文学林提供科目）」に掲げる授業科目は、その開講等に人文学研究科言語文化学専攻が中心に関わっている授業科目となります。

人文学研究科言語文化学専攻科目等履修生の出願対象となる授業科目は、下記の授業科目一覧のうち科目等履修生の履修が認められている授業科目（「履修可否」欄が「可」となっている授業科目）となりますので、履修希望は下記の授業科目一覧から選択してください。

なお、下記の授業科目一覧のうち、当該年度に開講される授業科目の内容は、ホームページを通じて今後公表する予定の「授業時間割表」及び「シラバス」を必ず確認するようにしてください。（注）下記の授業科目一覧に記載されていない「人文学研究科共通科目」及び「他専攻科目」は、人文学研究科他専攻の科目等履修生出願要項を確認してください。

### 人文学研究科言語文化学専攻科目等履修生出願対象 博士前期課程授業科目一覧

科目区分	授業科目名	単位	履修可否
人文学研究科共通科目 (人文学林提供科目)	デジタルヒューマニティーズ基礎	2単位	条件付可 <sup>※</sup>
	デジタルヒューマニティーズ特殊講義	1単位	可
人文学研究科共通科目 (言語文化専攻提供科目)	言語特別演習A・B	A、B各2単位	不可
言語文化学専攻科目	研究実践基礎	1単位	不可
	研究発表演習	1単位	不可
言語文化学専攻科目  ※Aは春～夏学期開講 ※Bは秋～冬学期開講	超領域文化論A・B	A、B各2単位	可
	ジェンダー論A・B	A、B各2単位	可
	グローバルイゼーション論A・B	A、B各2単位	可
	言語文化共生論A・B	A、B各2単位	可
	言語文化形成論A・B	A、B各2単位	可
	表象文化論A・B	A、B各2単位	可
	言語文化比較交流論A・B	A、B各2単位	可
	翻訳研究A・B	A、B各2単位	可
	コミュニケーション論A・B	A、B各2単位	可
	語用論研究A・B	A、B各2単位	可
	言語技術研究A・B	A、B各2単位	可
	社会言語学研究A・B	A、B各2単位	可
	応用言語学研究A・B	A、B各2単位	可
	第二言語研究法A・B	A、B各2単位	可
	第二言語教育方法論A・B	A、B各2単位	可
	第二言語教育実践研究A・B	A、B各2単位	可
	第二言語社会・文化研究A・B	A、B各2単位	可
	理論言語学A・B	A、B各2単位	可
	心理言語学A・B	A、B各2単位	可
	史的言語研究A・B	A、B各2単位	可
	言語統計学A・B	A、B各2単位	可
	デジタルヒューマニティーズA・B	A、B各2単位	可
	言語認知科学論A・B	A、B各2単位	可
	認知言語学研究A・B	A、B各2単位	可
	認知意味理論研究A・B	A、B各2単位	可
	認知レトリック論研究A・B	A、B各2単位	可

※「科目等履修生高度プログラム」の履修希望者のみ可（希望しても人数制限で認められないことがあります）